

# 平成30年 第6回 大山町教育委員会 議事概要

日 時 : 平成30年5月25日 (金)

午前9時30分～

場 所 : 名和公民館 第1会議室

出席委員 

1番	湊谷紀子	2番	池嶋順子	3番	林原浩子	4番	金田吉人
----	------	----	------	----	------	----	------

欠席委員 なし

教育長 鷲見寛幸

その他の出席者 教育次長 (佐藤)、 幼児・学校教育課長 (森田)、 人権・社会教育課長 (西尾)、  
幼児・学校教育課参事兼学校教育室長 (前田)、 幼児・学校教育課 担当者 (井上)

参観人 0人

## 日 程

### 1. 開会宣言 (午前9時30分)

### 2. 議事日程の報告

#### 日程第1 議席の決定について

1番 湊谷委員      2番 池嶋委員      3番 林原委員      4番 金田委員

#### 日程第2 会議時間の決定

自 午前9時30分      至 午前11時

#### 日程第3 教育長報告並びに連絡事項

教育長 4月27日～5月25日までの報告事項、6月2日までの今後の予定について説明  
(下記は主な内容)。

- 4月29日には、大山青年の家で春の体験フェスティバルが本町教育委員会の職員もスタッフとして参加して、盛大に開催された。
- 5月7日には、臨時議会において池嶋教育委員が満場一致で承認された。
- 8日には、西部地区町村教育委員会連絡協議会役員会を開催し、24日の総会にむけ、役員などの案について決定した。また新任保育士連絡会では、保育士としての心構えとか大山町の保育士として求める姿について、話をした。この会は年何回かあるので、指導、研修を続けたいと思う。
- 10日、11日は、全国町村教育委員会教育長会定期総会・研究大会に参加した。奈良薬師寺の大谷さんという方の講話の中で“よっぼどの縁”という言葉とその内容にすごく共感した。年間400回講演をしているということでも内容の濃い講話だった。

- 15日には、名和公民館ことぶき学級開講式を大山青年の家で実施した。自然の恵みで健康をというテーマで、葉草茶を4種類と青年の家周辺で摘んだ野草を天ぷらにして天ぷらうどんを味わった。60人ほどの参加者のうち男性は2、3人で女性のパワーが強いと感じた。
- 21日は、子育てサークル利用者の声をきく会に町長とともに出席した。利用者から子育ての旅がなくなったことが残念であるという声が出ていた。悩みを語り合ったり、他地域から来て知り合いもない中、この行事に参加して知り合いができることがよかったと声もあった。この事業に代わるものを今後提案しなければならないと考えている。もうひとつ、子育て支援センターは保育所に隣接しているほうがよいという意見が多かった。保育所に入所する前に子育て支援センターを利用するが、入所前に保育園のことがよく分かって安心であり、また既に入所している兄弟の送迎も便利だという意見が多く出た。
- 22日には中山中学校、23日には名和中学校の学校訪問を行い、どちらの学校も生徒が落ち着いて、規律正しい生活を送っていると感じた。
- 今後の予定としては、26日に大山・大山西・名和小学校で運動会を予定している。  
また、28日には名和陸上競技場プロポーザル審査会を予定している。6社の提案を受ける予定で、これを経て陸上競技場の改修を今年度実施することになる。

教育長

質問・意見等も含め、運動会などこの1ヶ月の感想があれば委員の皆さんからお願いしたい。

委員

中山小学校の運動会を観覧した。大山開山1300年祭をテーマとした組立体操では、神輿とかいろいろ開山1300年に関わる内容を創作されていて、とてもよい出来だったと思う。演技後、保護者から大きな歓声が起こり、感動の涙が多く見られたことが印象的だった。

24日の町村教育委員定期総会で、奥田係長の講演がとても分かりやすく、内容もよかった。あらためてショックを受けたのは、教職員の年齢構成で今の50代が退職後、学校はどうなるのか非常に心配になった。教職員になってくれる人材を育てないといけないと感じた。職場体験などで小学校を体験するような取り組みも必要だと思う。

委員

教職員の仕事が激務だということを子ども達も保護者も理解している。最近では元教員で71歳の方が担任されていると聞き衝撃を受けた。少しでも仕事を軽減し、子どもと触れ合う時間を持てるような取り組みが必要だと思う。お話を聞いて職場体験で学校を体験することはよいことだと思う。

委員

教職員採用は難しいイメージだったが、講演を聴いて驚いた。ただ先生になりたいという情熱を持った学生に出会ったことがあり、若い世代に期待している。  
子育てサークル利用者について、相談・支援体制が整備・周知され、自主運営できればと思う。

委員

先ほどから話に出ている職場体験は、よいアイデアだと思う。ただ本当に取り組めるのか、どんな内容で実施するのか、日々多忙の中、だれがこのことに対応するのかなど難しい問題を抱えている。プロジェクトチームを立ち上げ、教えることが楽しいという子どもを育てる、先生になりたいという子どもの力になれる、少しずつでもそういう職場体験にしていくことが大事だと思う。

教育長

職場体験については、米子市美保中校区の小学校で既に取り組みられているので、内容等よく調べて、参考にすることができると思う。

委員

先日の講演で、岸本中では若手とベテランの先生がコンビになって、若い先生を育てていると聞いた。大山町でも忙しいとは思いますが、このような取り組みをしてみてもどうかと感じた。

### 日程第3

#### 議案 第1号

##### 機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例について

人権・社会教育課長

7月1日付けで機構改革が予定されている。教育委員会関係では人権施策、人権啓発に関するものが福祉介護課に移ることになる。これに伴って大山町男女共同参画推進条例の第20条で審議会の庶務を人権・社会教育課が処理することになっているが、福祉介護課の関係条例に移行して庶務をするものは福祉介護課になるというものである。

委員

確認したいが、人権推進室が人権・社会教育課ではなく、福祉介護課に移るということか。同推協の事務局はどうなるのか。

人権・社会教育課長

移ることについてはその通りである。事務局等については6月議会で機構改革が承認されれば、教育委員会の関係規則等整理することになるので今後の提案となる。

教育次長

機構改革については、7月1日付けで実施するというところで6月議会に諮ることになるが、概要としては人権推進室が現在は人権・社会教育課の中にあるが、以前は町長部局に人権推進課としてあった。教育委員会の中にあると町の施策として推進する部分が少し弱くなるという意見や町職員が人権施策に積極的に関わることが少なくなったという指摘もあり、今回再度町長部局に移管するという方向で進んでいる。人権推進室の業務が福祉との関わりが深いことから、福祉介護課に移管するというのを議会に提案する方向である。そのほか要対協、児童クラブが新設される子ども課でワンストップで子どもの福祉部門を一括して担当することになる。教育委員会に関係することは、大きくはこの2つである。

全委員

了承。

日程第4 議案 第2号

平成30年度準要保護児童生徒の認定について

申請児童生徒数 1人 認定保留児童生徒数 1人

3. その他

- ・大山西小の児童クラブ（夏休み中）について
- ・保育士の退職について

4. 次回の開催日程 平成30年6月25日 午後1時30分～

5. 閉会宣言（午前11時）